巻頭特集 多くの雛人形と地域住民がお出迎え

あげきのおひなさん

近年、いなべ市阿下喜周辺には2月中旬から3月初旬にかけて、多くの観光客が訪れるようになりました。お目当ては「あげきのおひなさん」。主会場の「ウッドヘッド三重」をはじめ、１００軒ほどに雛人形が飾られ、人々の目を楽しませています。

1_22段もある大ひな壇。少しずつ段を増やしていき、天井ギリギリに到達しました（2017年） 2_大ひな壇はよく見てみると飾り方や配置が異なります（2013年） 3_多くの人でにぎわう会場。８００体以上もの雛人形を一気に見られる機会はなかなかないと好評 4_近所に住む70代の男性による折り紙の作品。会期中は毎日会場を訪れ折り紙教室を開催し、子どもたちを楽しませています 5_大正時代の雛人形。さまざまな時代のものが飾られており、表情や服装などの違いを見ていくのも面白い

工夫を凝らした展示で阿下喜ならではの楽しみを

阿下喜のまちに雛人形が並ぶようになったのは、２００５年。「あげきまちなか発展会」という地元商店街の役員たちが中心となって、30軒ほどの店先に雛人形を飾ってもらいました。

当初、メーン会場の「ウッドヘッド三重」には、七段飾が飾られていただけでした。3回目から「より華やかに美しく」と、商店街の女将などを中心とした女性8人からなる「はなもも会」が飾り付けを担う助っ人として加入。七段飾のそばに打掛を飾るなど、展示方法を工夫しました。手芸を得意とするメンバーによる、吊るし雛などの手づくり作品も展示。「あげきのおひなさん」の象徴である「大ひな壇」は、10段、20段と少しずつ数を増やしていき、現在は、壁一面を埋め尽くす22段、８００体以上を飾る規模となりました。リピーターを飽きさせない工夫として、色や種類で分けるなどして展示方法に毎年工夫を凝らします。

イベント開催当初は、卸業者から譲り受けた雛人形を展示。「あげきのおひなさん」の知名度が上がると、「いらない雛人形をもらってほしい」と問い合わせが届くようになったといいます。はなもも会では、現在１５００体以上を保有・管理。大正時代の貴重な雛人形も並びます。

「昭和30年代以前の貴重なものを除いて、現在はお断りしなければならなくなっているほど、たくさんの雛人形をご提供いただきました。家族形態の変化などで買い替えるご家庭が多いと思いますが、雛人形を親から子、子から孫へ受け継いで飾ってほしいですね」と、はなもも会の会長・水元暁美さんは思いを語ります。

かつてのにぎわいが感じられる地域一体となった一大イベント

地域にイベントが定着してくると、地域内の店舗や個人宅でも展示されるようになりました。「個人で飾ってくださる方もさまざまな工夫をしてくださっています。地域のみなさんのご協力があったからこそ、大規模な開催ができるようになりました。個人のお宅でも声をかけていただければ、おひなさんを見せてくれます。ぜひまちの方にも足を伸ばしてみてくださいね」。郵便局や銀行、空き店舗などには、はなもも会が直接交渉。会が所有する雛人形を飾り付けています。

現在、はなもも会のメンバーは12人。「4月だけがお休み。あとはずっとおひなさんのことを考えていますね」と笑う水元さん。5月から会議をはじめて、会期中のイベントや運営方法について計画していくとともに、手づくりの作品を半年以上かけて制作していきます。「好評をいただいている手づくり作品には、毎年テーマがあります。今年は『すべての人に感動を与え、親から子、子から孫へ思いを継いでいく』です。詳細は来てからのお楽しみです」と笑います。

バスツアー客が来場するようになると、客足が増加。３０００～５０００人だった来場者数は、昨年1万７０００人を記録しました。「昔、この辺りは商店が並び、とても活気のある場所でした。その頃のにぎわいをおひなさんの時期だけでも感じられるのがうれしいです」と水元さんは目を細めます。

今年は1月21日に雛出しを迎え、翌日から飾り付けがはじまります。「飾り付けは、開催日までは毎晩2時間の作業が続きます。メンバーは仕事をしている人ばかりなので準備は大変ですが、多くの人に来てほしいという思いと、たくさんの人に見ていただける喜びが、やりがいにつながっています」。

まもなく開催を迎える「あげきのおひなさん」。会期中は折り紙の雛人形の展示と折り紙体験が毎日開催されており、土日には体験コーナーやスタンプラリーなどが予定されています。今年も工夫を凝らした８００体以上もの雛人形の迫力や華やかさはもちろん、温かい阿下喜の人たちの歓迎ムードが、多くの人の心に響くことでしょう。

はなもも会 会長 水元暁美さん
2007年の立ち上げ当時からのメンバー。はなもも会のメンバーは、会期中も日替わりで会場に足を運んで会場案内などを務めています

最終日の3月4日は、はなもも会のメンバーが和装で迎える「着物カフェ」を開催。演奏会や、着物で散策に出かけられる無料着付けなどがあります

<Information>

あげきのおひなさん 2018

会場:阿下喜地内約100軒【メーン会場:ウッドヘッド三重】
期間:2018年2月17日（土）～3月4日（日）
※ウッドヘッド三重の開場時間は9:30～15:30
駐車場:あげき広場（約80台分）
問い合わせ
いなべ市商工観光課　TEL0594-46-6309
※イベント期間中は、ウッドヘッド三重（0594-72-6800）まで

土日にはイベントも開催。
毎年、講師を呼んで教室を開いています

文／青野穂波　写真／はなもも会・いなべ市　デザイン／ABBEY ROAD